



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「あいだ」について

先に描いておきます。
今回の原稿は、途中で書き続けるのを諦め
ちゃいました……。
では、途中までのお話をどうぞ……。

30数年前に、ある小児科の医師が「最初は患者の治療しか頭に無かったのだが、患者だけの問題としてとらえると治療の進展が望めず、家庭や学校など周りの環境も調整しないと根本的な問題が解決しないということが見えてきて、各方面と協力して対応を試みることで、一定の成果が見えるサポートシステムができあがったのだが、時間が経過すると、必ずシステムに乗らない状態の患者（つまり問題なしの状態の人と患者と認定される状態の人の中間に当たる状態の人）がクローズアップされてきて……対応を考えるということを繰り返して、きょうまで来てしまった」という話を聞かせてくれたことがあった。

あれから30数年になるが、その小児科医の元には心療内科医、精神科医、児童精神科医、看護師、心理士、心理師、教育関係者……ら、が集まって活動が続いているという情報が届いている。

私が始めて「独特な特性を示す子」に出会った頃、「早期幼児自閉症」というコトバを聞いた。

その後「カナー型自閉症」「アスペルガー型自閉症」「軽度発達障害」……など似ているのだけど微妙な違いを表そうとするコトバを次々と耳にするようになった。そう言えば「微細脳損傷」というコトバもあった……。

その後、「広汎性発達障害」という表記に出会うことが多くなり、DSMというイン

デックスのバージョンがⅢからⅣ……さらにⅣRとかⅣTRと枝番号が付くようになった頃には「スペクトラム」という表現に出会うことが多くなりDSMが5になったときには「ASD（自閉スペクトラム症）」というコトバが示されるようになった。

実際の状況は「スペクトラム」や「グラデーション」という特徴を持った事象として記録されることになる。

対処や対応を試みようとする対象に焦点を当てる作業をすると、世界の中から対象を切り出すことになり、世界と対象の間に境界線ができてしまう。

つまり、「あいだ」が空いてしまうのだが、細かいことを言うと「境界線」が「あいだ」なのではなく、「あいだ」は「境界線の外側」にできると思われる……のだ……「あいだ」と「あいだ」の「あいだ」に存在するのか「境界線」ということになる。

なんだかコトバだけがグルグル回っているようで、イメージが湧かない状況になってしまいが、図で示すようなことをすると「境界線」が「輪郭線」とゴチャマゼになってしまって、話がさらにややこしくなりそうに思えるので、図で示すことも難しい。

「境界線」を「輪郭線」と区別しておいたほうが良いのでは無いかと思うのはなぜかと言うと、「境界線」は「あいだ」と「あいだ」の「あいだ」の存在なのだが、「輪郭線」は「背景」と「対象（図形）」を分ける役目をするのだが、所属先が「対象（図形）」ということになるので「境界線」とはチョット違うのだ。

これについてはイメージで説明ができる……紙を用意してペンで図形を描いてみると、当たり前のようにそこに図形が見える、背景と図形を分けている線が「輪郭線」ということ

になる……ここまでは実際にやってみなくてもイメージできると思う。

ただ、イメージで考えているだけだと、やっぱり「境界線」と「輪郭線」は同じじゃないか……と思ってしまうのだが、じゃあ、実際に紙とペンを用意して「△（○でも良いけど）」を描いてみて……。

実際に描いた三角形を見て、その三角形はどこまでと感じているか確認して……いやいや、確認も何も線を描いたから三角形が見えているんじゃないか……と感じているだろうけど、そうすると、つまり三角形という図形を見せているのはペンの線であり、ペンの線は「図形である三角形に所属している」ことになる。つまり「輪郭線」は「図形の要素として認識されている（図形の一部に属している）」わけ。

話が脇に逸れた上にますますややこしくなってきた……始から書き直

すのももったいないし……このまま、「ブチッ」と切ってしまうことにしましょう。「スペクトラム」とか「グラデーション」の現実世界を「0と1」のデジタルで処理できると良いのにと思ったりしますが、現実のデジタル処理にも「あいだ」があるんですよ……。

デジタル処理の「お約束」の一つに「電源電圧Xボルトで処理をする場合、ゼロボルトから3分の1Xボルトまでの値を「0」として処理し、3分の2XボルトからXボルトまでの値を「1」として処理する……ということが取り決めになっていて、「あいだ」の、3分の1Xボルトから3分の2Xボルトは「処理の対象にしない」ということになってるんですよ。

スマホを開発するとき「あいだ」を極力無くすことでコンパクト化がなされたようだけど、内部のデジタル処理の部分に「3分の1の幅」の「あいだ」が空いているんですよ……。

(高石 公資)

ボランティアスタッフ急募！



当所に来られているのは不登校・ひきこもり・学校中退・社会人からの退社などの経験者で心理的に生きにくくなっている方の心のエネルギーをためる場所です。

その方に寄り添っていただけるボランティアスタッフを募集しています。

同じ曜日に安定してこられるとありがたいですが月4日以上活動していただくとありがたいです。

(現在利用者は12歳～37歳までおられます)

火曜日～土曜日 11時～18時が活動時間です。

半日などは可能です。

安定して活動いただけて利用者との関係性を構築していただけたらいい方、遊び相手話し相手イベント運営手伝いなどです。

オプションで学習サポート活動もあります(希望者のみ・学習は18時以降でも実施しています)

するかしないかも含めてその前の見学は歓迎です。

お気軽にお問合せください。



075-211-0750

QRコードはKSC Eホームページです。

イベント紹介・報告

☆5月3日・6月9日

岡崎フリマ参加

どちらも暑い日の中、手伝ってくれた皆様ありがとうございました。

☆5月5日

日曜居場所

休業日の居場所開所を今後も可能な日に実施いたします。

☆5月6日

出かけよう ピクニック 宝ヶ池公園

バドミントンとかで遊びました。ちょっと風が強かったのでシャトルが思うように飛ばなかったです。



☆5月10日・6月14日

パレット河原町商店街清掃活動参加

☆5月17日・6月21日

ものづくりかふえ

5月は羊毛フェルト、6月はカラータイルアートを行いました。



☆5月18日 **健康体操教室番外編**
ヨガイイベント参加 池坊短期大学



☆5月21日・6月18日

健康体操教室

体操とヒーリングとを実施しています。腸から健康になっていきましょう。

7月からはブレイン体操教室という名称に変更いたします。



☆5月25日（プレ活動）6月1日
体を動かそう 朝活ボウリング

2019年度の新規活動として朝活を行おうということからまずボウリングを実施しました。参加者は皆思いっきりボールを投げてストレス発散にもなったのではないかと思います。

☆6月2日

体を動かそう 大文字山 ハイキング
結構久しぶりに山登りを実施しました。
ハードルが高くないレベルで大文字山の
大の字まで登りました。往復と移動時間でも
4時間あれば行ってこれることもわかりま
したので朝活で体力作りに個人的にも使っ
てみようと思いました。



☆6月13日

学食 walk 同志社大学
同志社大学今出川キャンパスに行きました。
当然ながらリーズナブルでおいしかったです。



☆6月15日

体を動かそう 卓球
河原町松原に卓球場ができたことを知
り、初めて行きました。楽しくできまし
た、が戻る途中で豪雨にあってそちらの
思い出が強くなってしまいました(笑)



☆6月29日

出かけよう イオンモール京都散策
当所としては初めてのショッピングモ
ールの散策という出かけようを実施しま
した。本屋に立ち寄ったりゲームセンタ
ーを見たりペットを見たりいろいろ楽しめ
たと思います。



☆5月9日 24日 30日

☆6月8日 22日 28日

レク日 (フリースペース開所+音の出る
TVゲームやカルムができる日)
レク日は当所利用生以外も利用可能です
(費用がかかります)

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID 「ksceleader」

ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2019年7月8日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター